

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根 たけとよ



令和元年度実績額

5,222,224円

みなさまからお寄せいただいた寄付金は、武豊町の町を良くする活動に約84% 4,412,224円、愛知県内の広域の社会福祉施設の整備や団体の事業等に約16% 810,000円が役立てられます。

武豊町の共同募金によって行われている事業を一部紹介します。

地域支え合い体制づくり事業に

異世代交流、情報交換の場から、地域での課題を解決していくために皆で取り組むための力を育む居場所を開催しています。

気軽に集まり情報交換ができる異世代交流の場や、住民自らが必要性を感じて運営している居場所です。



おとなりカフェ笠松会場（いこい笠松）の様子

福祉教育推進事業に

「ふだんの 暮らしのしあわせ」のために、住民の皆さんが福祉に興味関心をもつ機会の提供を行うために、映画会を開催しています。昨年度は樹木希林主演の映画「あん」の上映をしました。



福祉映画会「あん」の上映

地域福祉活動支援事業に

地域住民が主体的に取り組む地域福祉活動の支援と活性化を図ります。

事業への助成は、赤い羽根共同募金の配分金を活用し、使い道の明確化と赤い羽根共同募金への理解と啓発もしています。

地域福祉活動の助成先は、公開プレゼンテーションによって、皆さんに決めていただきます。



公開プレゼンテーション「仲良し子ども会」の提案発表

共同募金とは？

赤い羽根共同募金は、都道府県を単位として、毎年10月1日から全国一斉に実施されます。お寄せいただいた寄付金は、民間の社会福祉活動を支える資金として、愛知県内の社会福祉協会をはじめ、福祉施設・団体の活動に幅広く役立てられます。たとえば一人暮らしの高齢者を見守る活動や福祉活動の担い手となるボランティアの育成、子どもたちへの福祉教育、障がい者が働く事業所への支援など、皆さんが住んでいる地域の福祉活動をはじめ、広域的な課題を解決するため県域の活動にも役立てられます。

共同募金は災害時にも役立つの？

大規模な災害が起こった際の備えとして、都道府県の共同募金会では募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積立は、大規模災害が起こった際に、災害ボランティアセンターの設置や運営など、被災地支援に役立てられます。

募金の方法

- (1) 戸別募金・・・区長さんを通じて、各世帯に協力を呼びかけます。具体的には各世帯に封筒をお届けし、その中に募金していただく「封筒募金」を実施しています。
- (2) 街頭募金・・・駅前・スーパー等の前で通行人に呼びかけて募金を行う方法です。
- (3) イベント募金・・・町内で行われるイベントで呼びかける募金です。
- (4) 法人募金・・・法人（企業・事業所等）の社会貢献活動の一環として、募金をしていただく方法です。民生委員さんを通じて依頼しています。
- (5) 学校募金・・・小学校・中学校・高等学校などで、児童・生徒が主体となって募金を行う方法です。
- (6) 職域募金・・・企業、団体、官公庁等の職域で、従業員・職員を対象に募金を呼びかけます。
- (7) その他・・・老人クラブなどの団体が自主的に募金を呼びかける方法です。寄付金付き自動販売機や募金関連グッズの販売などです。



社会福祉法人愛知県共同募金会

〒461-0011 名古屋市中区東区白壁一丁目50番地 TEL(052)212-5528

武豊町共同募金委員会

〒470-2392 武豊町字長尾山2番地 思いやりセンター（武豊町社会福祉協議会内）
TEL(0569)73-3104 FAX(0569)73-8377 Email:info@taketoyo-shakyo.com



寄付や使いみちを見ることができます